

すがわら文仁最新ニュース

2018年平成30年3月26日(月曜日) 戸田

市長選挙結果

菅原 文仁 42 票
石津 賢治 30 票
望月 久晴 10,163 票

戸田市長に菅原氏

前県議街づくり実績訴え

菅原市長は、選挙戦を通じて「対話、正直、全力」の姿勢で市民と向き合ってきた。選挙結果は、市民の期待に応え、菅原市長が初登庁した。菅原市長は、初登庁後、市民と対話し、市政の発展に努める。菅原市長は、選挙戦を通じて「対話、正直、全力」の姿勢で市民と向き合ってきた。選挙結果は、市民の期待に応え、菅原市長が初登庁した。菅原市長は、初登庁後、市民と対話し、市政の発展に努める。

「雇い主は市民」

戸田菅原市長が初登庁

菅原市長は、初登庁後、市民と対話し、市政の発展に努める。菅原市長は、選挙戦を通じて「対話、正直、全力」の姿勢で市民と向き合ってきた。選挙結果は、市民の期待に応え、菅原市長が初登庁した。菅原市長は、初登庁後、市民と対話し、市政の発展に努める。

「戸田市長に菅原氏」

2018年3月26日 読売新聞

「若手職員が市長とランチ」

2018年4月18日 テレビ埼玉

「緑で世界をつなごう」

2018年5月31日 東京新聞

菅原市長は、緑のまちづくりを推進し、世界とつながる。菅原市長は、緑のまちづくりを推進し、世界とつながる。菅原市長は、緑のまちづくりを推進し、世界とつながる。

「民間ブロック塀改修へ補助制度」

2018年6月26日 埼玉新聞

菅原市長は、民間ブロック塀の改修に補助制度を導入し、市民の安全を確保する。菅原市長は、民間ブロック塀の改修に補助制度を導入し、市民の安全を確保する。

編集後記

皆様からの心温まるご支援により、信託を賜った市長選挙から、もうすぐ100日が経過しております。4月2日の初登庁以降、副市長不在という状況の中、おかげさまでなんとか全ての仕事・案件を着実に実施してまいりました。少し時間がかかりましたが、最近やっと、分刻みのスケジュールにも慣れてきたところです。

所信表明演説でも申しあげましたが、市民との「対話」を重視する姿勢、しがらみにとらわれず「正直」に徹する姿勢、そして打てば響くような「全力」の姿勢、この3つの基本姿勢を大切にして、その職責を全うしてまいりたいと思っています。

また、「3×3=9つの挑戦(公約)」実現につきましては、今年度はすでに本格予算が決定されているため、まずは予算の伴わないところから着手することとなります。「急いでことは仕損じる」との言葉のように、一步一步着実に、そして柔軟に皆様の声をお聞きしながら政策を実現し、市民の皆様の「実感」へと結びつけてまいりたいと思います。

先日、ある先輩市長から、市長は「3つの顔」があると教えていただきました。それは、「政治家の顔」と「行政組織の長の顔」と「市の代表者の顔」であり、それぞれの役割をしっかりとこなしてこそ一人前の市長といえるそうです。

振り返ると、この100日あまり、行政組織の長の役割に集中しておりました。やはり政治家としては、市民の皆様の声を聴くことこそが原点です。そこで、公務に支障のない範囲で「駅頭活動報告」を再開しようと考えておりますが、登庁時間の関係でこれまで9時まで行っていた活動は、8時過ぎに切り上げることになってしまいます。ご了承いただければと存じます。

戸田は「新しい流れ」を歩み始めました。この流れはまだ、せせらぎのように小さいものですが、確実に未来に繋がる流れです。この流れを大河のように大きく育て上げ、豊かな大地に注いでいくことができるよう、引き続き、皆様のお力添えを賜りますよう、よろしく願い申しあげます。～最後までお読みいただき、ありがとうございます。～

戸田市長

すがわら文仁

【略歴】昭和50年7月30日生まれ(42歳) 戸田市立美谷小学校・美笹中学校卒 埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許) 明治大学大学院修了(公共政策学修士) 元社会体育会社代表 「地盤・看板・カバン」なして政治に挑戦 平成17年 戸田市議会議員に初当選 平成17年～23年 戸田市議会議員(2期・6年) 平成23年～平成30年 埼玉県議会議員(2期・7年) 平成30年 戸田市長選挙にて26,029票(歴代最多得票)を賜り初当選 埼玉県体操協会副会長 防災士 東京経営短期大学客員教授 【趣味】読書・史跡巡り・B級グルメ探し・道満ジョギング 【特技】バク転・のび太並みの早寝 【座右の銘】上杉鷹山翁の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」 【夢】努力した者が報われる社会を実現すること 【家族】父・母・妻・娘・息子・愛犬(3匹) 【自宅】戸田市美木8-21-6

発行 菅原文仁後援会
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
TEL/FAX 048-432-3585
HP sugawarafumihito.com
Email mail@sugawarafumihito.com

市長当選～初登庁～所信表明へ!

3/25 市長選挙当選

4/2 初登庁

3/18 出陣式

3/22 自転車街宣

4/2 市長就任式

4/9 入学式挨拶

一行日記

- 3月 弥生**
- 1日 (県議会)一般質問(2日目)
 - 2日 (県議会)一般質問(3日目)
 - 3日 (市内)地域訪問相談
 - 4日 (市内)ソフトボール西部地区開会式
 - 5日 (市内)公開討論会打合せ
 - 6日 (県議会)警察危機管理防災常任委員会
 - 7日 (市内)地域訪問相談
 - 8日 (県議会)経済雇用対策特別委員会
 - 9日 (市内)地域訪問相談
 - 10日 (市内)とだわらびJC公開討論会
 - 11日 (市内)戸田市サッカー協会会合
 - 12日 (市内)地域訪問相談
 - 13日 (市内)地域訪問相談
 - 14日 (市内)地域訪問相談
 - 15日 (市内)美笹中学校卒業式
 - 16日 (市内)地域訪問相談
 - 17日 (市内)事務所勤務
 - 18日 (市内)市長選挙出陣式
 - 19日 (市内)市長選挙2日目
 - 20日 (市内)市長選挙3日目
 - 21日 (市内)市長選挙4日目
 - 22日 (市内)市長選挙5日目
 - 23日 (市内)市長選挙6日目
 - 24日 (市内)市長選挙最終日
 - 25日 (市内)市長選挙投票日
 - 26日 (市内)野郎活動(さいたま市)上田埼玉県知事表敬訪問
 - 27日 (市内)あいさつ回り
 - 28日 (市内)あいさつ回り
 - 29日 (市内)あいさつ回り
 - 30日 (市内)あいさつ回り
 - 31日 (市内)市長任期スタート

- 4月 卯月**
- 1日 (市内)ソフト・野球・サッカー開会式
 - 2日 (市役所)初登庁・市長就任式
 - 3日 (市役所)庁議・議会ご挨拶
 - 4日 (市役所)市長ヒアリング
 - 5日 (市内)戸田中央看護(専)入学式
 - 6日 (市内)春の交通安全運動出発式
 - 7日 (市内)戸田ヶ原さくらそう祭り
 - 8日 (市役所)榎木市花フェスタ
 - 9日 (市内)小中学校入学式
 - 10日 (市役所)新規職員写真撮影
 - 11日 (さいたま市)清水さいたま市長表敬訪問
 - 12日 (板橋区)坂本板橋区長表敬訪問
 - 13日 (港区)ポーターレース関係団体表敬訪問
 - 14日 (市内)市体育協会表彰式
 - 15日 (久喜市)市長選挙応援弁士
 - 16日 (港区)笹川日本財団会長表敬訪問
 - 17日 (市役所)待機児童緊急対策本部会議
 - 18日 (市内)あすなる学園理事会
 - 19日 (市役所)暴力排除推進協議会役員会
 - 20日 (市内)長及び議員待遇者会総会
 - 21日 (市内)市内町会総会
 - 22日 (市内)市内町会総会
 - 23日 (市内)理容組合総会
 - 24日 (さいたま市)埼玉県市長会総会
 - 25日 (市役所)JR東日本大宮支社長来庁懇談
 - 26日 (市内)蔵戸田保護司会総会懇親会
 - 27日 (市役所)市長審査
 - 28日 (市内)全日本空手道選手権
 - 29日 (市内)市内町会総会

- 5月 皐月**
- 1日 (市内)上戸田氷川神社総代会
 - 2日 (美里町)原田美里町長表敬訪問
 - 3日 (市内)事務所勤務
 - 5日 (市内)こどもの国まつり
 - 6日 (市内)市内町会総会
 - 7日 (草加市)県南4市まちづくり協議会
 - 8日 (市内)笹目コミュニティ協議会総会
 - 9日 (蕨市)荒川左岸水害予防組合総会
 - 10日 (さいたま市)県と市町村会議
 - 11日 (市内)とだわらび交通安全協会評議員会
 - 12日 (市内)美女木地区まちづくり協議会総会
 - 13日 (市役所)子ども会育成連合会総会
 - 14日 (市役所)戸田市民憲章推進協議会総会
 - 15日 (市内)市防協協定会
 - 16日 (市役所)総合教育会議
 - 17日 (市内)リズム体操発表会
 - 18日 (千代田区)国土交通省訪問
 - 19日 (市内)戸田市民大開校式
 - 20日 (市内)埼玉土建藤田支部総会
 - 21日 (市内)自主防災組織協議会総会
 - 22日 (市役所)戸田マラソン大会実行委員会
 - 23日 (市役所)市議会本会議(市長所信表明)
 - 24日 (市内)漕艇場の藻刈り
 - 25日 (市内)防火安全協会総会
 - 26日 (市内)小学校運動会
 - 27日 (さいたま市)県獣医師会南支部総会
 - 28日 (市役所)定例記者会見
 - 29日 (市役所)国際興業(株)常務来庁懇談
 - 30日 (市内)グリーンウェイ戸田植樹
 - 31日 (市内)市議会本会議(提案説明)

ご挨拶

暑さが日ごとに増してまいりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。

さて、3月25日に執行された戸田市長選挙におきましては、多くの市民の皆様の厳肅なる信託を賜り、第4代の戸田市長に就任させて頂きました。

私は、この度の選挙において、「動かそう、戸田」というスローガンを掲げ、「対話、正直、全力」の基本姿勢のもと、「3×3=9つの挑戦」という具体的な公約を実行するとお訴えいたしました。

私たちの大好きな戸田をもっと元気に、そして市民の誰もが自信と誇りをもって活躍し、一人一人が幸せを実感できるふるさと戸田を実現すべく、私は自らに与えられた全てを捧げ、文字通り身命を賭して市政の舵取りに臨む決意です。

皆様におかれましては、今後ともお力添えを賜りますよう、心からお願い申し上げます。

戸田市長 菅原文仁

5/23 所信表明

5/16 戸田市総合教育会議

6/7 総括質問

市長所信表明演説

2018.5.23.

去る5月23日、平成30年第2回戸田市議会定例会において、市長所信表明演説を行ないました。所信表明とは、選挙後に開催される市議会定例会の冒頭、市長が自身の掲げる市政運営の方向性について表明するものであり、戸田市においては、就任時に1度のみ行なうことになっております。約9000字におよぶ所信表明の全文は、戸田市のホームページにある「市長の部屋」にpdf形式で掲載されておりますが、紙面の都合上、要約したものを掲載させていただきます。



はじめに

この度、執行された戸田市長選挙において、市民の皆様からの厳粛なる信託を賜り、第4代の戸田市長に就任させていただきました。この上ない光栄でありますとともに、その職責の重さに身の引き締まる思いです。市長選挙においては、「動かそう、戸田」のスローガンのもと、これまで積み重ねてきた私自身の経験と、市民の皆様との対話によって磨きかけた「9つの挑戦」を掲げ、皆様にこれから進めるべき政策についてお示しいたしました。

私は、この挑戦を通じて、これまでの市政の良い部分や伸ばすべきところを思い切って伸ばし、変えるべきところを大胆に変え、今日よりも明日、明日よりも未来へと戸田を前に動かしてまいります。そのために必要な対話を決して厭わず、汗をかくことを惜しまず、自らに与えられた全てを捧げ、文字通り身命を賭して市政の舵取りに臨む覚悟でございます。

基本姿勢

中国は明の時代の思想家、王陽明に関する著書「伝習録」には「知は行の始めなり、行は知の成るなり」とあり、行動や実践こそが生きた知恵であるという「知行合一」は、私が政治を志して以来大切にしてきた政治理念の一つです。この言葉のように、行動・実践を旨としつつ、次の三つの基本的な姿勢で市政運営を行ってまいりたいと考えております。

一つ目は、「対話」を重視する姿勢、二つ目は、「正直」に徹する姿勢、三つ目は、「全力」で打ち込む姿勢です。

基本方針

次に、市政運営に対する基本方針について申し上げます。

私は、これからの戸田を安心と活力にあふれ、成長するまちへと動かす基本方針として「つくる」「まもる」そして「つなぐ」という三つの大きな方向性を打ち出しました。この三つの基本方針にそれぞれ重点政策分野を設け、「9つの挑戦」を位置付けております。これらの政策を着実に推進していく具体的な方策について順次、述べさせていただきます。

つくる 「未来への投資」で元氣をつくる



初めに、「教育」の分野について申し上げます。

教育による人づくりはまちの未来を創るものであり、資源に乏しく人口減少が加速する我が国が、激しく変化する世界で生き残り、貢献していくためにも今、最優先すべきは「教育への投資である。」私はそう確信しております。また、本市の人口年齢階層の中では、子育て世代の比率が高く、これまで進めてきた教育改革も実を結びつつある中において、市民の皆様への期待は非常に高いと認識しております。

そこで、基礎自治体ならではのきめ細やかさや機動力を活かし、家庭・地域・学校の「横の連携」と幼児期・小学校・中学校の「縦の連携」を充実させ、さらには産官学民との連携などを通じた教育改革を加速させることで、未来を拓き、地域を担う子どもたちの教育環境を徹底して整え、県内屈指の教育のまちから、県内一そして日本一の教育のまちへと進化させてまいります。

具体的には、戸田型15年教育の推進、全国初の教育政策シンクタンクの設置、多様なニーズに応じた教育機会の充実、子どもの貧困対策の徹底、将来を見通した健全な学習環境の確保、子どもの体力向上推進本部の設置などに取り組んでまいります。

次に、「子育て」の分野について申し上げます。

社会全体が少子高齢化する中、本市は小さなお子さんを自転車に乗せているお母さんや、ベビーカーを押すお父さんの姿が数多く見られ、全国でも稀有な子どもが増えている自治体として注目されております。

特に、平成28年4月時点で待機児童数「県内ワースト1位」になったことは、大変衝撃を受けましたが、この待機児童の解消を優先課題として、妊娠・出産・子育てを行う家庭の育児不安の解消、放課後の居場所充実など、課題は山積しており、スピード感をもって着実に解決していかなければならないと感じております。現在育児中である私自身の実体験も活かしながら、綿密な調査と現場の声を丁寧に酌み取り、子育ての安心を実感できる環境の構築に全力を尽くしてまいります。

具体的には、異次元の待機児童対策の推進、こども医療費無償化の高校卒業まで拡大、ひとり親の子育て・就労支援の充実、戸田市版ネウボラの推進、幼児教育無償化の拡大、子ども放課後アクションプランの実行、第3子以降の給食費の減免、子育てチケットの発行などに取り組んでまいります。

次に、「経済と雇用」の分野について申し上げます。

本市は、今日まで多くの事業者、そして雇用の受け皿として発展してまいりました。まさに人財の宝庫ともいえる状況であります。

地域経済を発展させる手法として、地域を庭園に見立てて中小企業を美しく咲かす花と捉え、内発的に活性化させる「エコノミック・ガーデニング」の考え方に立ち、「経済と雇用の好循環」を生み出し、市内の働く人々や企業が咲き誇れるような元気なまちへと進展させてまいります。

具体的には、市長トップセールスの推進、戸田市版ウーマノミクスの推進、地元企業の優先的発注の推進、生産性向上に取組む事業者への支援、地域資源を活用したニューツーリズムの推進、ふるさと祭りの市役所での再開催、戸田PR大使の任命などに取り組んでまいります。

まもる 「安心の暮らし」を全力でまもる



次に、「高齢者・障がい者」の分野について申し上げます。

団塊の世代全員が75歳以上となる平成37年(2025年)には、我が国の5人に一人が75歳以上、そして3人に一人が65歳以上という、かつて経験したことのない超高齢社会に突入いたします。誰もがいつかは、目が見えにくく或いは耳が聞こえにくくなるなど、身体機

能が低下していきます。私たちは、障がいや心身の病、不慮の事故、虐待や貧困など、人生における様々な困難に直面した場合でも、誰もが役割を持ち、お互いが配慮し存在を認め合い、そして時に支え合うことで、孤立せずにその人らしい生活を送ることができるような共生社会をつくっていくことが求められております。

以上のような観点に立ち、切れ目のない支援を実現してまいります。



具体的には、認知症グループホームの増設、認知症サポーターの増員、見守り体制の充実、エンディングサポート事業の創設、福祉ワンストップ総合相談窓口の設置、心と情報のバリアフリー化の推進、工賃水準の向上と優先調達推進、手話言語条例の制定などに取り組んでまいります。

次に、「命と暮らし」の分野について申し上げます。

私は、有事に備えて被害を最小限に抑えるための準備と、いざという時にはその最前線に立ち、冷静な判断により市民の皆様への安全・安心な暮らしを守り抜くことができる行政をつくりたいと考えております。また、市民の皆様への防災に対する意識を変えていくことも、市長として重要な役目であると考えております。犯罪抑止や交通事故防止への取り組みについては、体感治安といった新たな視点も踏まえて、市民の皆様が安全・安心して暮らすことができるまちの実現を目指してまいります。

具体的には、防災基本条例の制定、地域強靱化計画の策定、雨水管・下水道・調整池の整備、退職自衛官等の防災専門家の採用、救急救命職員・消防団員の増員、防犯性の高いまちづくりの推進、通学路の防犯カメラの設置、子ども見守り隊の全市展開などに取り組んでまいります。

次に、「健康長寿」の分野について申し上げます。

高齢化が進む社会は、マイナスイメージとして受け取られる場合がありますが、私はむしろ、寿命が延びたことによって人生において活躍できる時間と多様な選択肢が与えられ、地域社会の発展にも寄与していただける方々が増えるというプラスイメージで捉えていかなければならないと考えております。

いつまでも市民の皆様にご自分らしく過ごしていただくため、身体面の健康だけでなく、「生きがい」を感じて安心して豊かな生活を送れる「健幸」つまり、「健やか」で「幸せ」なまちづくりが大切であります。

そこで、保健・医療・介護など全ての政策にこの理念を行き届かせ、心身ともに元気な方々を増やすため、「健康長寿」を核としたまちづくりを進めてまいります。

具体的には、戸田市版スマートウェルネスシティ構想の策定、健康格差対策の推進、地域包括ケアシステムの構築、要介護度改善奨励制度の創設、介護給付費の適正化、ピアサポートの推進、健康長寿サポーターの増員、受動喫煙ガイドラインの推進、歩きタバコ禁止区域の罰則化などに取り組んでまいります。

つなぐ 「人・自然・街」を共感でつなぐ



次に、「人とまち」の分野について申し上げます。

本市は、近代から現代にかけては交通・物流の要衝として首都東京を支えながら栄えてきたまちであり、先人たちは、その時代にあわせた「天の時」とを捉え、都心へのアクセスの良さである「地の利」を活かし、「人の和」によって、人や物をつなぎ、文字通り橋渡しをして、このまちを発展させてきたのではないかと考えております。

そこで、これらの魅力に加え、豊かな自然や公園といった本市のポテンシャルを活かした都市基盤整備や住環境の利便性を、着実に発展させ更新するとともに、市域の均衡ある発展を期することによって、まち全体の魅力を高め、誰もが快適で永く住み続けられるまちを創造してまいります。

具体的には、戸田市版シルバーバスの発行、公園リニューアル計画の策定、埼京線の終電延長やホームドア設置の直接要望、自転車通行ネットワークの整備、新曽(第一・第二)区画整理事業の推進、市全体を見通した街づくり、総合的なマンション支援対策の推進などに取り組んでまいります。

次に、「自然と文化・スポーツ」の分野について申し上げます。

本市は荒川の流れと関東平野に広がる大地の恵みによって潤ってきた「水のまち」。これらの自然環境やこれまで受け継いできた文化を次世代へと引き継いでいくこと、さらには子どもたちが安心して遊べるような美しい水辺環境や、緑あふれるまちを創出していくことが責務であります。

そこで、これらの取り組みを行政だけでなく進めるのではなく、市民の皆様とともに環境づくりを推進してまいります。

また、地域活性化の観点から、スポーツ施設の改修や文化・芸術活動の支援によって、市民の皆様が気軽に活動できるような場づくりを進めてまいります。

具体的には、環境市民活動応援基金の創設、2020東京五輪事前キャンプの誘致、ホストタウン登録の推進、スポーツ施設改修の計画的な推進、市民の文化・芸術活動への支援充実、自然配慮型の河川整備の推進、犬猫の不妊手術費用助成制度の創設などに取り組んでまいります。

次に、「地域と市役所」の分野について申し上げます。

地域課題の解決や公共サービスの向上を実現していくためには、まちを構成するあらゆる主体が目標を共有し、連携しながらまちづくりを進めていくことが求められます。

職員には、ぜひ積極的に地域に飛び込み、市民の皆様と本音で語り合うことによって、現場を肌で感じ、市民感覚で地域の実情・課題に目を向け、その解決策を提案してほしいと考えております。職員を市の大きな資産と捉え、すべての職員がプラス思考で、気持ち良く仕事ができる組織を目指してまいります。

また、財政運営については、子どもにツケを回さないという基本理念を徹底してまいります。「入るを量りて出ざるを制す」との考えのもと、不断の行財政改革を進めていくことによって、市民の皆様への負託に応える行政サービスを展開してまいります。

具体的には、町会と行政の役割分担の見直し、地域担当職員制度の導入、公民連携専用窓口の設置、公募提案型協働事業の導入、ポータル系配分金の収益確保、収納対策の強化、プライマリーバランスに配慮した財政運営の推進などに取り組んでまいります。

最後に、私の描く本市の未来への思いについて述べさせていただきます。

先日発表された国立社会保障・人口問題研究所の将来推計によると、平成27年から平成42年までの15年間で、本市の人口は136,150人から153,176人まで、約12.5パーセント増加すると推計され、過去の調査の中で推計人口が最多となることが示されました。



人口動態のみをもってまちの発展をはかることはできませんが、本市は、選ばれるまちへと発展する可能性を秘めていると認識しております。私たちは、来たる「人口15万人都市」を現実のものとして捉え、既存の取り組みを継続していただくだけではなく、しっかりと先を見据えて、新時代にふさわしい戦略を掲げ、政策を刷新し、挑戦していかなければなりません。

そのためには「政策づくり」以上に、何よりも「人づくり」が重要であります。このような「人財」に活躍できる場を提供し、人財同士がつながり共に戸田を動かしていくことによって、市全体の地域力を向上させてまいります。しかし、市政運営を進めていくなかでは、「月に叢雲、花に風」のこのわざのように、時には満開の花にも風が吹き付け、嵐に見舞われてしまうこともあると思います。そのような状況を乗り越えるには、私一人の力では限界があります。

職員はもちろんのこと、市民の皆様、そして議員の皆様とともに困難を乗り越え、一丸となってまちづくりを推進していくことで、市民の皆様がふるさともっと好きになり、誰もが自信と誇りをもって活躍し、一人一人が幸せを実感できる戸田を創ってまいります。

結びに、市政運営への特段の御理解と御支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。市長就任に当たりましての所信とさせていただきます。